資料5

農業者団体ヒアリング　結果概要

■ヒアリング日時

日時	令和４年８月 23 日（水）　15:30～16:30
会場	那珂市役所　２階会議室
ヒアリング対象者	株式会社綿引農園、常陸農業協同組合ひたちなか営農経済センター、ひたちなか・東海・那珂ほしいも協議会那珂支部・那珂地区生産組合、農事組合法人那珂アグリス、直売所とんがりはっと経営委員会、常陸農業協同組合那珂直売所、農業活動拠点施設運営組合「ふれあいファーム芳野」
配布資料	・ヒアリングシート ・資料１：基本理念・コンセプト ・資料２：導入機能の基本方針
ヒアリング項目	１．主に実施している取組み ２．新たな道の駅の運営に対して、どのような関わり方が可能か ３．道の駅の運営に関わるために必要な施設・設備（ハード面） ４．新たな道の駅の運営に関わるために必要な条件や支援（ソフト面） ５．実施したい活動やイベント等（農業・地域振興につながる） ６．その他、本事業への要望・ご意見

■ヒアリング結果概要

農産物直売所の運営について	・農産物直売所の運営に関しては、難しいと考える。 ・農産物直売所の出荷体制・出荷の取りまとめは可能である。
農産物の安定的な確保について	・売り場の面積が増えることで、農家の増産意欲が強まることが想定されるため、問題ないと考えられる。 ・生産者の高齢化は課題であるが、小さい規模（家庭菜園等）の生産者からの少ないロッドの農産物受入も行い、徐々に拡大していくことも一つの方向性として考えられる。
直売所の整備に当たっての検討事項	・他の市内直売所とは、競合関係でなく、それぞれの直売所の特色を生かす連携の方向性を模索する。
道の駅の運営に関わるために必要なハード支援	・飲食店との連携を想定し、那珂の農畜産物を用いたレストランを直売所の隣に整備するなど、情報発信の場が必要である。 ・出荷するにあたり、施設構成として搬入しづらい状況は特に避けたい。運営事業者と連携を取りながら、基本設計段階で売り場やバックヤード等に必要な配慮を施す必要がある。
道の駅の運営に関わるために必要なソフト支援	・運営事業者が決定した段階での議論になると想定されるが、那珂市の農家に対する何らかのインセンティブ（例えば、キックバックなど）は必要である。
道の駅で実現可能な農業・地域振興につながる活動等	・新規就農者を受け入れる体験農場を道の駅隣接で整備する等が考えられる（市側で、初期投資を負担する必要あり）。那珂市は農産物の品種が豊富であり、新規就農者にとって魅力的な環境を生かすべきである。